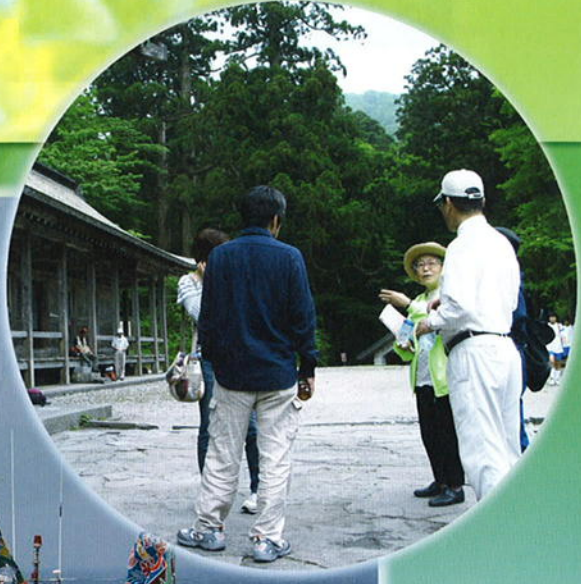


大山恵みの里づくり計画 (概要版)

平成18年10月
鳥取県大山町



大山町の地域資源

大山をはじめとする全国に誇る貴重な自然環境と町内各所に存在する豊富な歴史資源

県内トップクラスの農業産地
(二十世紀梨、りんご、白ネギ、ブロッコリー、和牛など)
多彩な特産品・加工品
(ブルーベリー、茶、乳製品、ジャムやタレなど)
県内さざえ・わかめのナンバーワン産地

大山周辺への観光客数は、5年連続減少・衰退傾向から上向きの兆し

地域の資源を改めて見直し、その魅力や価値を一層高めるさまざまな活動に参画しよう！

消費者や市場の声に応じて、付加価値を高め、磨きをかけて、地元のものを自ら売ろう！

名所・施設と業者だけの旧来型観光地から、住民主導による人ありきの観光地づくりをめざそう！

〈計画の基本理念〉

大山をシンボルとする観光地域づくりによる産業・雇用・所得の活性化

- 秀峰・大山をシンボルとして、大山町の自然・歴史を背景としたさまざまな資源の価値や魅力を引き出し、全町的な観光地域づくりに結びつける。
- 観光業と農林水産業を基幹産業として、大山ブランドの育成を図ることにより、産業・雇用・所得の活性化をめざす。

町民総参画による
観光地域づくり展開

大山町の自然・歴史

観光業

大山ブランドの育成

農林水産業

持続可能な
魅力ある観光地域の形成

町内の産業・雇用・所得の
活性化

住みたくなる
住み続けられる大山町

〈計画の基本姿勢〉

「品質革新」～あらゆるものの品質の磨き上げに取り組む

「資源連携」～多様な地域資源の価値を連携させる

「公民協働」～ともに意識を変える・まずやってみる

計画の実現に必要な組織づくり

「観光・交流・集客」と「農林水産業・特産品・食」の2つの領域で両輪のごとく駆動し 民間や住民の活動を牽引する機関が必要

農林水産・特産品・食

財団法人 大山恵みの里公社の設立

～町内の一次産品・特産品等の
外貨獲得・雇用創出の集中支援～

- **大山ブランド製品の認証機関**
 - 大山ブランド製品の育成に向けた支援
 - 大山ブランドの認証制度の開発・運用
- **マーケティング支援を通じた販売支援**
 - 消費者への市場調査や商談会の開催
 - インターネット通販のポータルサイト開設
- **人材育成・起業支援**
 - 研修機会の提供や異業種交流の場づくり
 - 創業・新規参入の支援、空き店舗活用の促進
- **総合交流拠点の管理運営**
 - 農畜産物・水産物・特産品等の販売市の運営
 - 大山ジゲの味の提供

観光・交流・集客

新・大山町観光協会の設立

～国立公園大山を中心とする
観光資源を活用した交流人口の増加～

- **大山寺参道・アルペンルートの
一体的再生**
 - 観光ガイド窓口の創設・運営
 - 大山寺参道の振興・にぎわいづくり
- **体験観光商品の開発・販売**
 - 観光案内機能の強化(ランドオペレーション)
 - 観光資源の掘り起こし・旅行商品の造成・販売
- **関係機関との連携強化による
サービス強化**
 - 大山町観光商工課・大山中海観光室 等
 - NPO大山中海観光推進機構(大山王国) 等
- **収益事業の拡大による自主財源の確保**
 - 指定管理者としての収益事業(駐車場管理)
 - 旅行業取得等による主催事業の拡大

最終的には、
住民によるチャレンジ＝起業化
による経済活動を通じて、
雇用と所得の創出への挑戦

まちづくり・住民起業

住民まちづくり会社の起業

- **大山町の地域資源を活かした
ビジネス化をめざす**

例) 御来屋賑港株式会社

NPO法人等の育成

- **大山町のまちづくりや地域活
動等の活性化を図る**

5つの目標と目標達成のための施策

目標 1 魅力を高める

基本
方向

大山から日本海まで 「町民総参画による環境保全活動の展開」

- 町内全域を対象に町民総参画で自然保護や環境再生活動
- 町民自ら環境に対する意識を高める「大山町環境の日」を制定
- 地域の花づくり活動を
—自治会—ガーデン運動として展開
- 大山町景観づくりコンテストの開催や
大山町景観条例の制定



	現状値(H18)	目標値(H21)
環境保全活動の参加人数	年間延べ2,500人	10,000人
大山町景観づくりコンテストの開催	—	毎年開催
—自治会—ガーデン運動参加団体数	10団体	50団体

基本
方向

観光・大山の顔である 「大山寺参道・アルペンライン地域の再生と魅力向上」

- 見る・食べる・泊まる・学ぶ・遊ぶをテーマに
大山寺参道とアルペンラインの「るるぶ化」
 - ・からす天狗キャラクター“グーちゃん”を活用したグッズ、土産物、料理等の商品開発
 - ・歩きたくなる大山参道づくり(街なみ景観整備、一坪ギャラリーの開設)
 - ・大山の食の恵みづくり(参道の—店逸品運動、大山の食研究会、地産地消の仕組み)
 - ・テーマ性のある大山の宿づくり(食事・体験、スポーツ・文化合宿)
 - ・大山アート発見の場づくり(アートギャラリー、ショップ開設、クラフト大賞創設)
 - ・大山の自然や歴史を学ぶ機会の提供(ガイドとの連携による大人の修学旅行の実施)
- 香取地区、あけまの森ペンション村、県道米子大山線周辺の「るるぶ化」
- 大山寺周辺での空き店舗や空き地を活用した起業を促進



からす天狗キャラクター
“グーちゃん”



	現状値(H18)	目標値(H21)
グーちゃんキャラクター関連グッズ商品数	1商品	10商品
地域団体商標「大山そば」提供店	0店舗	5店舗
—店逸品宣言の店舗数	0店舗	15店舗
旅館・民宿の年間合宿利用客数	18,000人	36,000人
空き家・空き店舗チャレンジショップ店舗数	0店舗	6店舗

基本
方向

山陰道を活用した 「観光・物産等の総合的な拠点づくり」

- 大山観光への玄関口となる観光・物産・情報の総合的な拠点づくり
- 拠点施設では特産品販売や体験観光等、住民と行政の協働運営で全体への波及効果



	現状値(H18)	目標値(H21)
総合的な拠点施設の利用者数	0	20万人
総合的な拠点施設の販売額	0	3,600万円